

Heartful Communication

ひがしみの

7

2015 JULY

Vol. 208

特集

第17回通常総代会



第17回通常総代会

「農」を基軸としたJA組織活動と
事業を展開し、信頼性の向上と経営基盤の
強化・健全性の確立に取り組む



当JA足立能夫組合長

第17回 東美濃農業協同組合通常総代会

第3号議案

定款の一部変更について

平成26年に農業協同組合法施行令（昭和37年政令第271号）等が改正され（平成26年12月1日施行）、大口信用供与等の範囲が拡大されたことに伴い、理事会の議決事項である1億円超の信用の供与等について、職制規程で金額を定めることが可能となるよう、定款を一部変更する。

第4号議案

信用事業規程の一部変更について

農業協同組合法第11条に基づく大口信用供与等規制が平成26年12月1日から施行されたことに伴い、信用の供与等の限度に関する規定を整備するほか、所要の規定を整備するため当該規程の一部変更する。

第1号議案

第17年度（平成26年度）事業報告及び剰余金処分案の承認について（5ページ）。

第2号議案

第18年度（平成27年度）事業計画の設定について（7、9ページ）。

第5号議案

理事及び監事の報酬額の決定について

1. 昨年度の支給実績及び事業実績、経済情勢の変化等諸般の事情を考慮して、平成27年度の理事の報酬については総額6,930万円以内とし、その範囲内における各理事の報酬額、支給方法等については、理事会に一任する。なお、理事は27名です。
2. 昨年度の支給実績及び事業実績、経済情勢の変化等諸般の事情を考慮して、平成27年度の監事の報酬については総額1,350万円以内とし、その範囲内における各監事の報酬額、支給方法等については、監事の協議に一任する。なお、監事は6名（うち員外監事1名）です。

附帯決議

本総代会の決議事項中、権利義務に関しない軽微な事項の修正、違算及び誤字の修正並びに法令その他行政庁の処分またはこれに基づく指示による必要な修正は、理事会に一任するものとする。

報告事項

「JAバンク基本方針」の変更

第17年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに全国農業協同組合中央会の監査報告及び監事の監査報告（5ページに貸借対照表、損益計算書のみ掲載）

JAひがしみの6月19日（金）、東美濃ふれあいセンターで第17回通常総代会を開き、総代定数600名のうち520名が出席しました。
議長には河村恒雄さん（恵那市長島町）が選出され、第5号議案までの議事を審議し、原案通り可決されました。
特集では要点を紹介します。



議長
河村恒雄さん

事業報告

指導事業



営農指導

平成26年度は、経営所得安定対策と日本型直接支払制度の見直しが実施され、各地域で説明会を開催しました。農地の集積については、農地中間管理事業の開始に伴い、JAも7月から業務委託を受け専任推進員を5名配置し、各地域において、出し手・受け手農家の掘り起しからマッチング・契約交渉を中



東美農農業振興ビジョン取り組み発表会

心に活動し、担い手法人の支援を行いました。

農畜産物の生産振興については、東美濃農業振興ビジョンの進捗状況を把握するため、支店巡回を行い職員の発表会を開催しました。また、各生産組織の組織基盤を強化するため、全地域で品目毎にチャレンジ塾を開催し、新規就農者育成確保の拡大を図りました。

生活指導

管内の保育園・幼稚園・小学校においてJA食農リーダーを中心に、米や大豆、野菜などの播種から管理・収穫・加工の体験活動を実施しました。また、親子を対象とするアグリスクールを開催し、「食」と「農」と「JA」への理解を深める活動を行いました。

JA助け合い活動に参加する会員の増加を図りました。また、各施設・病院



介護センター利用者へ弁当を作る助け合い組織「たんぼぼの会」

へのボランティアや配食サービスなど高齢者支援活動の内容を充実するとともに活動の場を提供しました。

女性部組織が仲間づくりや組織づくりを図るため、ふれあいセミナーやおすすめ講座、サークル等を開催し、多くの方に参加していただきました。また、生活習慣病予防健診を各地域で開催するなど地域貢献活動を積極的に行いました。

恵那峡ハーフマラソンでおにぎりを配布し
恵那コシヒカリをPRした

組織広報

組合員や地域の皆さまにJAをより身近に感じ、ご利用いただけるよう「JAファンづくり運動」に取り組みました。また、支店運営委員会等の会議を開催し、皆さまの「声」をJAの運営の参考にさせていただきましました。

広報誌「ひがしみの」・日本農業新聞・地域コミュニティ誌・ホームページ等で「食」と「農」に関わる情報を中心に、

地域農業の振興と安全・安心な農畜産物のPR活動を展開しました。

販売事業

農畜産物の販売情勢は、経済情勢に回復の兆しが見られているものの、米については、昨年に続き卸業者が多く在庫を抱え、米価が昨年を大きく下回る結果となりました。主要園芸品目の夏秋トマト・なすについては、8月の台風11号の通過後、曇天が続く夏から秋にかけて、灰色かび病等の発生による着果不良によって、収量の低下になりました。しかし、栗については生産量の増加により取扱高1億円を達成することができました。また、畜産物については、和牛子牛が全国的な不足から高値が続きましたが、肥育農家には、素牛の導入等厳しい年になりました。



栗販売額1億円達成大会を行った

事業報告



利用・加工施設事業

利用施設の良品生産、安全・安心の管理体制を強化するため、米のコンタミ（異品種混入防止に努めました。また、乾燥調製施設の長寿命化を図るため、県・市の支援を受けて改修に努めました。



中津川トマト選果場内の設備機器を一新した

介護保険事業

相互扶助の精神を基に、介護を必要とする高齢者とその家族が安心して暮らせる訪問介護事業に取り組みました。ご利用者のご家族に喜ばれ満足していただける質の高いサービスを提供するため、職場ミーティングの開催や各種研究会・研修会に参加し、質・知識・技術の向上に努めました。

指導事業

生産資材関連では、大口農家・担い手農業者及び多様な農業者に對して、肥料・農薬の予約注文推進を行い早期予約のメリットである予約値引きを実施するとともに、担い手組織・大口農家を中心にした大口奨励措置を実施しました。また、営農事業部門と連携し、産直に向けた栽培や生産資材等の簡易研修会の開催や、TAC（タック・



組合員や地域住民を対象としたふれあい感謝祭を開催した

担い手担当者・営農経済担当者による土壤分析の利用普及とその活用としての低コスト資材の提案活動に取り組みました。生活関連事業では、営業店舗の活動以外に、各地域における「ふれあい感謝祭」の開催を中心に各種キャンペーンを展開し、組合員の皆さまに生活資材の提案活動を行いました。

信用事業

農業の活性化と地域に貢献する地域密着型金融機関を目指し、年金アドバイザー・窓口アドバイザーの充実を図るとともに、相談機能の向上と組合員・利用者の多様なニーズに応えるべく年金受給

者・未取引者等への取り組みを強化し、取引先の組合員化による顧客基盤の拡充とCS（顧客満足）の向上に努めました。また、農業の担い手や集落営農組織への融資対応とローンセンターを中心に相談型営業体制の強化を図り、休日ローン相談会の開催や住宅建築業者との意見交換会を開催しました。

また、不良債権比率の引き下げ、不祥事の未然防止を図るためオンサイトモニタリングによる支店巡回を実施し、事務の堅確性やリスク管理・健全性の確保に取り組みしました。

共済事業

JA共済の事業理念である助け合いの精神を再認識し、組合員・利用者及び地域住民の皆さまへ「安心」と「満足」を提供し、地域の保障充足を拡大することに努め、将来にわたる強固な事業基盤を築くことに努めました。また、3Q訪問活動を通じて「加入状況点検」と「新規加入拡大」のため、共済加入世帯全戸訪問と新たな仲間づくりに取り組み、JAへの信頼確保と地域住民との絆づくりを努めました。



JA共済アンパンマン交通キャラバンを開催した

平成26年度分 出資金に関するお知らせと組合員資格確認のお願い

第17回通常総代会で、平成26年度剰余金処分案が承認されました。

出資配当金は、6月25日付で組合員の皆様の貯金口座へ入金いたしましたので、お知らせ致します。

組合員の皆様の組合員資格に変更が生じた場合は、定款第15条の定めるところにより、書面にて当JA宛にお届けいただくことになっております。組合員資格に変更があった場合は、お手数ですが当JAの最寄りの支店宛に組合員資格変更届をお届けくださいますよう、お願い申し上げます。

組合員資格には農業者である正組合員と、農業者以外である准組合員の2つがあります。

正組合員は、経営する農地が5a以上か、農業に年間30日以上従事する農業者等の方が該当します。

なお、組合員資格の詳細などは最寄りの支店にお問い合わせください。

※ 組合員資格の変更は、お届けいただいているお名前・ご住所の変更、正組合員から准組合員に、または准組合員から正組合員に資格が変更した場合、組合員資格を喪失した場合などが該当します。

※ お亡くなりになられた方の名義で届いている場合、当JAの出資金が名義変更（相続手続き）されていない可能性があります。お手数ですが、最寄りの支店にお問い合わせ下さいますよう、お願い致します。



■貸借対照表

平成27年3月31日現在(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
1. 信用事業資産	211,362,809	1. 信用事業負債	213,325,734
①現金	847,799	①貯金	212,944,072
②預金	156,666,846	②借入金	37,584
系統預金	156,592,370	③その他の信用事業負債	344,078
系統外預金	74,475	未払費用	161,149
③有価証券	8,219,905	その他の負債	182,928
国債	6,820,309	2. 共済事業負債	1,340,939
地方債	199,999	①共済借入金	70,020
社債	1,199,596	②共済資金	845,743
④貸出金	45,096,901	③共済未払利息	737
⑤その他の信用事業資産	1,140,753	④未経過共済付加収入	394,564
未収収益	1,099,802	⑤共済未払費用	28,669
その他の資産	40,951	⑥その他の共済事業負債	1,203
⑥貸倒引当金	△609,396	3. 経済事業負債	407,459
2. 共済事業資産	71,356	①経済事業未払金	360,217
①共済貸付金	70,020	②経済受託債務	29,749
②共済未収利息	746	③その他の経済事業負債	17,493
③その他の共済事業資産	589	4. 雑負債	408,681
3. 経済事業資産	2,680,984	①未払法人税等	46,131
①受取手形	8,702	②資産除去債務	46,369
②経済事業未収金	938,854	③その他の負債	316,180
③経済受託債権	40,779	5. 諸引当金	1,273,112
④棚卸資産	574,292	①賞与引当金	241,390
購買品	267,942	②退職給付引当金	1,003,794
貯蔵品	123,037	③役員退職慰労引当金	27,927
その他の棚卸資産	183,311	負債の部合計	216,755,927
⑤その他の経済事業資産	1,156,508	純 資 産 の 部	
⑥貸倒引当金	△38,153	1. 組合員資本	9,359,578
4. 雑資産	315,204	①出資金	2,688,607
5. 固定資産	3,395,214	②再評価積立金	816
①有形固定資産	3,236,393	③利益剰余金	6,698,432
建物	6,096,628	利益準備金	2,335,179
機械装置	1,850,077	その他利益剰余金	4,363,253
土地	1,273,178	税効果調整積立金	98,084
その他の有形固定資産	1,432,476	経営基盤強化積立金	1,381,585
減価償却累計額	△7,415,968	特別積立金	2,152,437
②無形固定資産	158,821	当期末処分剰余金	731,145
6. 外部出資	8,127,789	(うち当期剰余金)	298,253
系統出資	7,915,603	④処分未済持分	△28,278
系統外出資	207,286	2. 評価・換算差額等	3,145
子会社等出資	4,900	①その他有価証券評価差額金	3,145
7. 繰延税金資産	165,292	純 資 産 の 部 合 計	9,362,723
資 産 の 部 合 計	226,118,651	負債及び純資産の部合計	226,118,651

■損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日(単位:千円)

科 目	費 用	収 益	差引損益
信 用 事 業	412,812	2,237,390	1,824,577
共 済 事 業	97,257	1,296,485	1,199,227
購 買 事 業	6,427,711	7,189,705	761,993
販 売 事 業	85,438	184,278	98,839
農 業 倉 庫 事 業	2,473	19,262	16,788
哺育センター事業	96,558	113,092	16,533
堆肥センター事業	69,961	83,015	13,054
加 工 事 業	1,872	1,550	△322
利 用 事 業	438,347	650,732	212,385
作業受委託事業	22,243	23,021	777
葬 祭 事 業	1,894	38,170	36,275
旅 行 事 業	5,413	10,974	5,560
簡易郵便局事業	1,590	3,762	2,172
介護保険事業	18,734	16,659	△2,075
そ の 他 事 業	19,569	36,302	16,732
指 導 事 業	43,708	10,083	△33,625
1. 事業総利益			4,168,896
2. 事業管理費			3,865,933
事業利益			302,962
3. 事業外収益			162,687
4. 事業外費用			3,403
経 常 利 益			462,246
5. 特別利益			59,080
6. 特別損失			89,600
税引前当期利益			431,725
法 人 税 等 合 計			133,472
当 期 剰 余 金			298,253
当期首繰越剰余金			362,838
税効果調整積立金取崩額			66,329
経営基盤強化積立金取崩額			280,697
当期末処分剰余金			731,145

※貸借対照表、損益計算書の記載額は千円未満を切り捨てて表示しています。

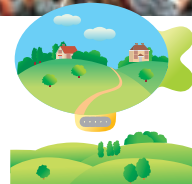


【第1号議案】第17年度(平成26年度)剰余金処分計算書

(単位:円)

I 当期末処分剰余金	731,145,930	(注) 1. 出資配当は、年1.5 %です。 2. 任意積立金における目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額、取崩し基準等は次のとおりです。 (1) 経営基盤強化積立金						
合 計	731,145,930							
II 剰余金処分額								
1. 利益準備金	60,000,000	<table><tr><th>目 的</th><th>積立目標額</th><th>取崩し基準</th></tr><tr><td>貸出金等不良債権の処理、固定資産の減損会計、有価証券の価格下落、会計等法制度の変更に伴う費用の発生等、金融経済環境の急激な変化に伴う損失発生へのてん補に備え、組合経営の健全な発展を図ることを目的として積立を行う。</td><td>次の金額の合計額を限度額として積み立てる。 ①貸倒引当金繰入対象債権の期末残高の7%に相当する額 ②有形固定資産(償却累計額控除後)の期末帳簿残高の5%に相当する額</td><td>次の事象が発生した事業年度において、必要額を取り崩すことができる。 ①債権を償却(貸倒引当金繰入含む)することにより多額の費用が発生した場合、その費用相当額 ②減損会計等の適用により多額の費用が発生した場合、その費用相当額 ③不稼動資産等処分 不稼動資産計上等上記①②以外の資産について処分損が発生、またはその価値の毀損により全額回収が危ぶまれる場合に評価損を計上する場合、その費用相当額 ④会計等法制度の変更により多額の費用等が発生した場合、その相当額</td></tr></table>	目 的	積立目標額	取崩し基準	貸出金等不良債権の処理、固定資産の減損会計、有価証券の価格下落、会計等法制度の変更に伴う費用の発生等、金融経済環境の急激な変化に伴う損失発生へのてん補に備え、組合経営の健全な発展を図ることを目的として積立を行う。	次の金額の合計額を限度額として積み立てる。 ①貸倒引当金繰入対象債権の期末残高の7%に相当する額 ②有形固定資産(償却累計額控除後)の期末帳簿残高の5%に相当する額	次の事象が発生した事業年度において、必要額を取り崩すことができる。 ①債権を償却(貸倒引当金繰入含む)することにより多額の費用が発生した場合、その費用相当額 ②減損会計等の適用により多額の費用が発生した場合、その費用相当額 ③不稼動資産等処分 不稼動資産計上等上記①②以外の資産について処分損が発生、またはその価値の毀損により全額回収が危ぶまれる場合に評価損を計上する場合、その費用相当額 ④会計等法制度の変更により多額の費用等が発生した場合、その相当額
目 的	積立目標額		取崩し基準					
貸出金等不良債権の処理、固定資産の減損会計、有価証券の価格下落、会計等法制度の変更に伴う費用の発生等、金融経済環境の急激な変化に伴う損失発生へのてん補に備え、組合経営の健全な発展を図ることを目的として積立を行う。	次の金額の合計額を限度額として積み立てる。 ①貸倒引当金繰入対象債権の期末残高の7%に相当する額 ②有形固定資産(償却累計額控除後)の期末帳簿残高の5%に相当する額		次の事象が発生した事業年度において、必要額を取り崩すことができる。 ①債権を償却(貸倒引当金繰入含む)することにより多額の費用が発生した場合、その費用相当額 ②減損会計等の適用により多額の費用が発生した場合、その費用相当額 ③不稼動資産等処分 不稼動資産計上等上記①②以外の資産について処分損が発生、またはその価値の毀損により全額回収が危ぶまれる場合に評価損を計上する場合、その費用相当額 ④会計等法制度の変更により多額の費用等が発生した場合、その相当額					
2. 任意積立金	305,639,508							
経営基盤強化積立金	(200,000,000)							
税効果調整積立金	(105,639,508)							
3. 出資配当金	39,800,676							
合 計	405,440,184							
III 次期繰越剰余金	325,705,746	(2) 税効果調整積立金						
		<table><tr><th>積立目標額</th><th>取崩し基準</th></tr><tr><td>繰延税金資産(法人税等の前払い部分)の剰余金処分を留保するために毎期積立を行う。ただし、繰延税金負債及び有価証券の評価差額にかかる繰延税金資産に対する額を除く。</td><td>繰延税金資産が回収された、または回収不能となった年度において当該減少額を取り崩す。</td></tr></table>	積立目標額	取崩し基準	繰延税金資産(法人税等の前払い部分)の剰余金処分を留保するために毎期積立を行う。ただし、繰延税金負債及び有価証券の評価差額にかかる繰延税金資産に対する額を除く。	繰延税金資産が回収された、または回収不能となった年度において当該減少額を取り崩す。		
積立目標額	取崩し基準							
繰延税金資産(法人税等の前払い部分)の剰余金処分を留保するために毎期積立を行う。ただし、繰延税金負債及び有価証券の評価差額にかかる繰延税金資産に対する額を除く。	繰延税金資産が回収された、または回収不能となった年度において当該減少額を取り崩す。							
		3. 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額15,000,000円が含まれています。						

質疑応答



Q 今年度事業計画における購買事業について、「低コスト農業」への取り組みが記載されています。ところがJAは、肥料・農薬等の価格が他所と比べ結構高いのでは。どのような選定の方法で行っているのか伺いたい。もっと組合員に還元してもらいたい。

A 当JAでは、多種多様な肥料・農薬・生産資材を扱っていますが、全てが高いというわけではありません。例えば商系では数量等の限定付きで安くする方法も取っています。或いは、成分の違いもあります。確かに、全てJAの方が安いわけではなく高い物もありますので、価格改定期や需要期には他店の価格調査も随時行い、高い物については安くする努力も行っていきます。直近の調査では、肥料農薬において、多くの品目でグリーンセンターの方が安いという結果が出ています。

当JAでは、これまでは80%ほどを全農から仕入れていました。現在、政府が見直しを図っているJA改革の中に、資材等を仕入れる際は一力所から一括的に仕入れるのではなく、多くの所と交渉を行い、その中で同じ成分・効果の物であれば全農ばかりに偏った仕入れではなく、最も安い所から仕入れる方法も提案されています。今後は検討を重ね、少しでも組合員の皆さんに還元できるような仕入の方法について考えていきたいと思っています。

Q JA改革の中で一番の焦点である「販売力の強化」が基本方針にありますが今年度、どのように強化されるのか、お聞きしたい。また指導課を設置してほしい。

A 販売力の強化策については契約販売の継続や、今年度は特に主食用米の販売について年間集荷量の5%の3千俵を買取販売として、地元業者への営業販売にも取り組めます。また地元学校給食には地産地消の取り組みとして地元の食材を推進してまいります。また、今摺り米の販売も実施します。

他に、地域を支える担い手営農組織との連携をしっかりととりまとめ、今年度より本店営農部には、販売戦略特命担当と担い手対策特命担当を設置、また営農部と各アグリセンターにTAC(担い手担当者)を配置しました。指導課は今の段階では設けず、まずは営農指導員、あるいはTACのレベルアップを図ります。

Q 今年度事業計画における販売事業重点項目に飼料用米の作付け拡大の実施と購買事業の活動方針に生産資材のコスト低減とありますが具体的な説明がほしい。

A 飼料用米の作付け拡大の実施について、昨年は主食用米の販売単価が急激に安くなり、コシヒカリの概算金は9,700円となりました。要因は米の過剰です。今年はこれを打開するために、昨年からの取り組みでありますが需要のある米(飼料用米)を販売していきたいと思っています。JAグループとして全国で60万トン、岐阜県では11,800トンを飼料米として確保していきたいと思っています。

東美濃管内では面積で199ヘクタール、1,034トンの作付けをお願いするものです。ちなみに26年度実績は556トン、86ヘクタールでしたので2、3倍の面積が必要です。現在の状況ですが、岐阜県では約8割ぐらい達成できています。

東美濃管内は県下と同じような状況で目標1,034トンに対しおよそ820トン、面積で162ヘクタールが担い手組織を主に作付け転換、また新たな作付けとして努力をいただいておりませんが、現在、37ヘクタール不足しておりますので、何とか達成したいと思っています。

先日の日本農業新聞にJAグループとして35万トンできたという記事が掲載されましたが35万トンでは27年産の米価を上げるというところは難しい状況であります。主食用米の需給改善をしっかりと行うために、飼料用米の申請期限も当初の6月末から7月末まで延期となりました。これを踏まえて飼料用米の確保はしっかりとやっていきたいと思っています。

現在の飼料用米と米価との価格差ですが補助金ベースも含めて昨年の米価水準で行くと2〜3万円ぐらい飼料用米の方が有利になります。担い手を主に呼びかけ、達成に向けて取り組んでいきたいと思っています。

生産資材のコスト低減について、現在も実施しておりますが基本的には取引条件に応じた弾力的な対応をしていきます。継続的な取り組みとして値引きによる価格メリットのある予約購買、大口取引奨励等があります。また、定期的にホームセンター等の価格調査をし、当JAがいかに安く提供できるか、あるいは負けない価格に持っていけるかの検討をしていきます。このような一つ一つの積み重ねがコスト低減に繋がるものと思います。また、仕入れの価格交渉を今まで以上に特に全農と仕入れ部分について交渉力を付けていきたいと思っています。最終的には生産者の方と生産技術を含めたトータル的な生産コストの引き下げが最終的な目標となります。既にやっていることも含め継続的に一つ一つ細かくご提案申し上げていき、トータルの生産コストの引き下げを行いたいと思います。

Q 平成27年度事業計画における指導事業の重点項目の中で、「農地中間管理機構と連携した担い手への農地集積の拡大」について、具体的に説明して欲しい。

A 農地中間管理機構とは各県に一力所設置されており、農地の貸し借りについて仲介する機関です。岐阜県においては岐阜県農畜産公社に設置されており、中津川市と当JAがその業務について委託を受けております。農家が農地を管理することが出来なくなつた、もしくは農業をやめたいというような場合に、当JAを通じて農地の出し手として機構に預けます。また、機構は農地の借り手として、法人化した組織や認定農家を担い手として募集し登録しています。当JAはこの貸し手と借り手のマッチングと貸し借りの手続きをお手伝いしていいこうというものです。

Q

規制改革会議は農業者抜きの会議で案が作られ法案が提出されました。今の政府のやり方ではJAがつぶされてしまうのでは危惧しています。

職員はどのように勉強されているのですか。また信用、共済事業を疎かにしているのではないかと心配をしています。

A

JA改革については今後どうなっていくか見通しがつかないところがたくさんあります。改革案にはJAグループとして反対し、与党にもお願いしてきました。

農協法第8条、事業の目的の中の「組合員への最大の奉仕」の部分は変わりませんが「営利を目的として事業を行ってほしくない」という部分で今回大きく変わろうとしています。農業者だけを優遇すればよいという項目があり准組合員、地域の方には関係ないという解釈もでき、准組合員に対し危惧されます。農協法改正でいかに対処するか考えていかなければなりません。

職員は職員集会等で組合長からも話があり認識しています。

政府は職能組合的な考えを持っていますが信用、共済の収益は営農指導にも当然必要でありますので、疎かにすることは決してありませんし、今後も今以上に事業展開を図ってまいります。

各地域で開催した事前説明会



平成27年度

事業計画

基本方針

わが国の経済は、政府が進める「アベノミクス」効果等により、景気は大企業を中心に緩やかな回復基調が続いていますが、その状況にはばらつきがみられ、特に地方や中小企業、そして個人所得はその効果が十分に実感できない状況にあります。

農業面では、過剰在庫による米価低迷の中、農地中間管理機構の本格稼働による担い手への農地集積、経営所得安定対策や日本型直接支払のほか、飼料用米等の戦略作物による水田フル活



子どもたちに食と農の大切さを教えるアグリスクール



用など、生産調整の見直しを含む米政策の大転換期を迎えています。

政府は昨年6月「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、本年4月農協改

革に伴う法案を国会に提出しました。目的は農業所得の向上と地域の活性化を図るとしていますが、全国中央会の一般社団法人化、県中央会の連合会への移行、JAへの公認会計士監査の義務付け等組織改編を大きな柱とした改革案であり、真の農業所得の向上、地域の活性化に繋がるか説明のつかないものです。

これに対しJAグループは昨年11月に「自己改革」について提起し、自らが改革を進めることを表明しました。JAひがしみののは、真の農業所得の向上と地域の活性化に向けてJA自らの改革の中で、特に販売力強化を大きな課題として、食と農を基軸として地域に根ざした総合農協としての農業協同組合をさらに目指してまいります。

その他、TPP交渉につきましては、各国との協議が山場を迎え予断を許さない状況にあり、衆参両院の農林水産委員会決議が守られるよう、今後も働きかけていかなければなりません。また、JR東海は、昨年10月、リニア中央新幹

線の工事認可を受け、その後中津川市・恵那市において事業説明会を開催しました。今後は工事着工に向け加速度的に進展するものと考えられ、情報収集活動を強化し情報の共有化を進める必要があります。

このような状況の下、JAひがしみでは、平成25年度から取り組んできました第5次中期計画の最終年度を迎え、これまでの2年間の結果と課題の検証を踏まえ、計画達成に向けた実践強化を図ります。「農」を基軸とした活動では、「東美濃地域農業振興ビジョン」に基づき、荒廃農地の抑制・新規就農者の確保に取り組み、農家所得向上を目指した農畜産物の有利販売の強化・生産コスト低減に資する資材の供給・担い手との連携による農地集積の促進等の農業経営支援強化を図ります。

また、支店・アグリセンターを中心としたJAファンづくり運動の展開、各協力組織との連携強化、さらなる経営の健全性確保に取り組み、地域の皆さまに信頼され、必要とされるJAを目指してまいります。



女性限定で開催された草刈り講習会

事業計画



基本項目

1. 「農」を基軸とした組織活動と事業展開の実践
2. 組織基盤の強化
3. 経営基盤の強化、健全性の確立



指導事業

営農指導

管内農業の現状は、農業者の高齢化や後継者問題など多くの課題を抱えています。特に、農地の問題はJAが取り組む重点課題と位置づけており、農地の出し手となる農業者の要望に応えるため、各地域の担い手と連携を図り農地集積の支援に取り組めます。また、各地域の担い手の育成についても支援を強化します。

主要農畜産物（園芸・畜産）では、営農指導員による農業経営支援の強化を図り、農家所得の向上に資す



新規就農者へ向けたチャレンジ塾

生活指導

る取り組みを強化します。さらに、各生産部会と連携を図り新規就農者の確保や農業生産基盤の拡大を図ります。

「食」と「農」を基軸としたJA食農教育活動を拡充するとともに、JA高齢者福祉活動の強化を図ります。また、女性部等を中心とした組織活動の充実にも努めます。



当JAは中津川市と高齢者見守り協定を締結

組織広報

支店等を基軸としたJAファンづくり運動の展開と広報誌による「JAならでは」の情報発信に努めます。



広報誌「ひがしみの」

販売事業

農畜産物の販売状況は、異常気象の影響による生産量の減少、消費減退に起因する米の過剰在庫による価格低迷、生産農家の高齢化など多くの課題があります。一方で東美濃産農畜産物は流通関係者や消費者の皆さまから強く支持され、生産拡大が期待されています。

このような状況の下、米価下落対策では、需要が増加している飼料用米の作付推進と主食用米の買取販売の強化により農業者の所得増大を図ります。

また、農畜産物の安全・安心を担保できる正確な生産履歴と自主点検活動の徹底、生産部会と一体となった付加価値の高い東美濃ブランド農畜産物の生産拡大と販路拡大により、有利販売に努め農家所得の向上を図ります。



出荷規格を確認する夏秋なす目揃え会

利用・加工施設事業

安全で高品質な東美濃ブランド農畜産物の供給基地として、組合員・流通業者・消費者の皆さまが求める高品質な製品の供給に努めます。また、計画的な

施設改善・設備投資の実施により機能の維持・強化を図るとともに、衛生的な施設管理と業務の合理化に努め、組合員の皆さまの期待に応える施設運営を行います。

平成27年8月にオープンする「JA葬祭アグリホールえな」



恵那給油所にピットを新設

介護保険事業

高齢者独居世帯が増える中、相互扶助の精神を基に、介護を必要とする高齢者とその家族が安心して暮らしていけるよう訪問介護事業に取り組めます。

購買事業

組合員の高齢化と後継者不足による農業就業人口の減少の急速化はもとより、輸入農畜産物の増加や国産品の差別化の進展、円安等の影響による資材原料の高騰など農業経営にとって厳しい状況が続く中、地域と一体となりJAの総合力による組合員・利用者の皆さまのニーズを事業に反映できる体制づくりと利用者満足度の向上を図ります。

生産資材事業では、重要課題である農畜産物生産の支援に向けて生産資材のコスト低減に努めます。

生活資材事業では、組合員・利用者の

皆さまのニーズに応えるため、店舗整備に努めるとともに、安全・安心なJA商品の提供と、健康・環境・エコに配慮した資材等の提案に努めます。

信用事業

国内景気は、昨年の消費税増税以降、個人消費の回復は遅れ、円安に伴う物価上昇が消費者心理に悪影響を与えており、今後も景気の好転には時間がかかることが予想されます。

このような中、地域密着型金融機関として農業の活性化と地域に貢献し、各種相談機能の強化により組



合員・利用者そして次世代層の皆さまの求める多様なニーズに応え信頼を得るため、農業・生活メインバンクの機能の強化を図り、農業とくらしに貢献し、選ばれ成長し続ける金融機関を目指します。



「窓口ロールプレイング大会」で職員の資質向上を図る

共済事業

JA共済の理念である助け合いの精神を再認識し、「地域に安心の輪を広げ、未来への絆をつくる」ことに取り組み、組合員・利用者の皆さまの保障充足を拡大することに努め、将来にわたる強固な事業基盤を築きます。

また、訪問活動を通じて「加入状況点検」と「新規加入拡大」への取り組みを強化し、新たな仲間づくりへの取り組みと共済加入世帯全戸訪問を実施し、JAへの信頼確保と地域住民の皆さまとの絆づくりに努めます。

ご挨拶

「農」を基軸とした事業運営を促進し、組合員・地域の皆さまから信頼され、必要とされるJAを目指します



東美濃農業協同組合
代表理事組合長
足立 能夫

組合員・利用者の皆さま方におかれましては、日頃よりJAの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成26年度のわが国の経済は、政府主導の金融緩和と景気の安定・底上げを図る経済政策により、円安・株高が進み、大企業を中心に

業績の回復基調が続いていますが、その状況にはばらつきがみられ、消費税の増税による生産コストの上昇と併せ、米価の下落は農家経営を苦しめ、その効果は十分に実感できない状況にあります。

農業を取り巻く環境は、基幹的農業従事者の高齢化と、離農等による農業従事者の減少が遊休農地の拡大に繋がり、深刻化しております。

平成26年度は、米の過剰在庫等を背景に大幅な概算金の引き下げとなり、生産現場に不安と懸念が広がっています。今年産米の生産目標数量が大幅に減少する中で、飼料用米等の生産拡大をはじめ、農畜産物の生産振興に

JAを挙げて邁進する所存です。

政府は、昨年6月の規制改革会議の農業改革案に端を発した農協改革について、本年4月3日に農協法改正案を閣議決定しました。今般の法改正では、中央会制度の廃止や公認会計士監査の導入、組合の理事構成の見直しなどが盛り込まれましたが、JAグループで今後、組合員の営農や暮らしに悪影響を及ぼすことのないよう注視していくとともに、改革の目的である農業所得の増大、地域の活性化に結びつくよう、全力で自己改革の取り組みを実践してまいります。

TPP交渉につきましても、国会決議をした重要5品目すら予断を許さない状況であり、農業に限らず、国民の暮らしに直結する多くの問題が含まれていることから、衆参両院の農林水産委員会決議が守られるよう、今後も働きかけていかなければなりません。

平成25年度から取り組んでまいりました第

5次中期計画の最終年度を迎え、これまでの2年間の結果と課題の検証を踏まえ、計画達成に向けた実践強化を図ります。

「農を基軸とした活動では、「東美濃地域農業振興ビジョン」に基づき、荒廃農地の抑制・新規就農者の確保に取り組み、農家所得向上を目指した農畜産物の有利販売の強化・生産コスト低減に資する資材の供給・担い手との連携による農地集積の促進等の農業経営支援強化を図ります。

また、地域に存在感のあるJAを確立するため、支店・アグリセンターを中心とした「JAファンづくり運動」に取り組み、信頼され、必要とされる組合運動を展開し、「農」を基軸とした事業運営の促進・経営管理体制の強化・職員の資質向上を図ってまいります。今後とも組合員、利用者の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

女性部活動体験発表会 安江里子さんが最優秀賞

県JA女性連絡協議会とJA岐阜中央会は6月4日、各務原市で第40回「JA女性部活動体験発表会」「フレッシュミズの主張コンクール」家の光記事活用発表会を開きました。当JAからは安江里子さんが「わが人生、JAと共に」と題し発表。みごと最優秀賞に選ばれました。

安江さんはJA女性理事としてグリーンセンターの活性化のために設立した「食菜まめな倶楽部」や周りの人々との交流を通じて感じたこと現在のJAとの繋がりを強める活動について発表しました。



県女性協土屋厚子会長(右)より賞状を受け取る安江さん

夏秋なす出荷本番 共同選果で品質統一

東美濃夏秋なす生産協議会が生産する夏秋なすの出荷が、6月中旬からスタートしました。今年度は定植時の5月に好天が続いたことから順調に生育し、色・ツヤ・形も良く、昨年度より1週間早い出荷。11月上旬まで岐阜、名古屋、京都市場へ202トの出荷を見込んでいます。

6月10日に同JA本店で開かれた目揃え会には同協議会、市場、JA関係者ら約60名が参加し、出荷規格や生育状況などを確認しました。同協議会員は「家庭選果を徹底し、持ち込み時点での品質統一を図ってきたい」と意気込みました。



出荷規格などを確認した目揃え会

くり新規栽培チャレンジ塾 担い手育成で産地拡大図る

当JAと東美濃栗振興協議会は6月7日、中山間農業研究所中津川支所で第1回くり新規栽培チャレンジ塾を開講しました。

同塾には13名が参加。塾生は産地と協議会の概要について説明を受けた後、同支所内の試験圃場で幼木から成木まで樹齢別の生育状況を確認し、初夏の追肥や病虫害対策について学びました。

塾生は「桃栗3年」と云われるように美味しい実が採れるようになる若木まで丁寧な手入れに努めていきたい」と今後の目標を語りました。



栗園で説明を受ける塾生

助け合い組織「たんぽぽの会」 介護センター利用者へちらし寿司

当JAの助け合い組織「たんぽぽの会」は6月3日、JA本店で、訪問介護センター利用者36名分のちらし寿司弁当を作りました。

同会は毎年春にはちらし寿司、冬にはおはぎを作り、同センターのヘルパーらが無料で利用者宅へ訪問して届けています。

弁当にはちらし寿司の他に煮豆や酢の物、果物などを盛り付け、高齢の利用者が食べやすいよう食材は小さく切る工夫も。同会は「毎回おいしいと喜んでもらえるため、これからも続けたい」と笑顔で話しました。



彩り豊かなちらし寿司を盛り付ける「たんぽぽの会」

超特選栗新規部会員 圃場審査会で全員合格

当JAは6月23日、超特選栗部会への新規加入を希望する生産者4名を対象に栗園での圃場審査会を行い、審査の結果全員が合格しました。

同部会が生産する超特選栗は、地元菓子店へ栗きんとんの原料として契約出荷され、低樹高・超低樹高栽培や徹底された出荷・収穫条件などによる高い品質が認められています。

同部会への加入は樹齢6年生以上、各支部での推薦、JAへの出荷実績など一定の条件を満たす生産者を対象とし、7月2日の加入説明会では合格者に認定証が手渡されました。



栗園を巡回する審査員



絵本の読み方について説明を聞く参加者

カンガルー劇場へようこそ！ 女性部サークルで読み語りと食育教育

当JA女性部のサークル「カンガルー劇場」は6月17日、三尾揚子さんを講師にJA本店で読み語りと「魔法のおにぎり作り」を行いました。サークル名の「カンガルー」は親子をイメージしたもの。子育て世代の若い女性にもJAや女性部活動に親しみ、興味をもってもらうことを目的に、全8回の開催を予定しています。

参加した10組の親子は、子どもが喜ぶ絵本の読み方を学んだ他、地元産コシヒカリを使って簡単にできるおにぎり作りを楽しみました。

ふれあい課 だより



生活習慣病健診のご案内

■中津川地域

【健診日・会場】

7月29日(水) 苗木支店

7月30日(木) 落合支店

8月17日(月)、18日(火) 本店

8月24日(月) 阿木支店

●お申込み受付期間

7月17日(金)まで



■恵那地域

【健診日・会場】

9月14日(月) 東野営業所

9月15日(火) 笠置コミュニティ

9月17日(木) 中野方コミュニティ

9月18日(金) 飯地営業所

●お申し込み受付期間

8月17日(月)～31日(月)まで

●当日受付時間

午前8時30分～午前11時まで

●お申し込み

お申し込み方法が変更となりました。各支店・営業所にある申込用紙をご記入の上、窓口に提出して下さい。
(肺がん・大腸がんの健診をお申し込みの方は容器をお受け取り下さい。)

●お問い合わせ

JAひがしみの本店 ふれあい課
TEL 0573-178-0124

家の光グループ・JA女性部員・ サークル合同作品展&元氣交流会

JA女性部は日頃、家庭雑誌「家の光」を活用して仲間とともに楽しい活動をしています。活動の成果を発表する交流会を開きますので、部員の方はもちろん、部員以外で活動に興味のある方も、ぜひお越し下さい！

●日程 7月24日(金) 11時～16時30分

25日(土) 9時～16時

●場所 JA本店

●内容

- ・作品展
- ・加工食品・手芸品バザー
- ・女性部喫茶コーナー
- ・Aコープ商品販売
- ・各体験コーナー など



平成26年度の作品展の様子

～正職員採用試験のご案内～ 生まれ育った東美濃の地で働きませんか？

■採用職種……………総合職（金融・共済事業、営農指導・販売事業、購買事業 他）

■応募資格、応募書類…

説明会名	応募資格	応募書類	採用人数
1. 新卒求人	大学、短大、専門学校を28年3月卒業見込または卒業後3年以内の方	・エントリーシート ・成績証明書 ・卒業（見込）証明書 ※就活ナビへのWEBエントリーも必要です。	若干名
2. 一般求人	新卒求人該当者以外で高卒以上の社会人経験のある方	・エントリーシート ・職務経歴書 ・卒業証明書（証書写しで可）	

※正職員採用日はいずれも平成28年4月1日です。

※エントリーシートはJAひがしみのホームページ「採用情報」からダウンロードできます。

■試験日程……………応募書類の受付期間：平成27年7月1日（水）～8月14日（金）（必着）

※書類選考通過者に対し、1次試験のご案内をします。

1次試験：8月下旬（筆記試験、小論文、面接試験） 2次試験：9月中下旬（面接試験）

■説明会……………説明会に来場下さい。JAひがしみのについて説明いたします。

説明会名	日 程	場 所	申込方法
JAひがしみの説明会	平成27年7月22日（水） 14:00～16:00	JA本店	就活ナビまたは電話で申し込み下さい。
ひがしみの就職面接会	平成27年8月1日（土）	東美濃ふれあいセンター	主催者指定の方法

※個別の訪問も対応します。人事課までお問い合わせ下さい。

■書類の提出先、説明会申込先、問い合わせ先

〒509-9132 中津川市茄子川1646-19 JAひがしみの 企画総務部人事課

Tel 0573-78-0168 Fax 0573-68-7724 E-mail: jinji@ja-higashimino.gjadc.jp

JAひがしみの採用情報 <http://www.ja-higashimino.or.jp/recruit/>

※新卒求人のエントリーシートには「申込No」の記入が必要です。「申込No」は、就活サイト「ダイヤモンド就活ナビ2016」から同サイト内の「JAひがしみの」にWEBエントリーいただくとメールでお知らせします。

ダイヤモンド就活ナビ2016 <http://navi16.shukatsu/16/>

草刈り講習会開催

初めて草刈り機を使う方を中心に参加者を募集します。草刈り機は使い方を間違えると大きなケガのもとです。草刈り機の正しい使い方を身に付け、安全な作業を行いましょ。

■日 時 平成27年7月10日（金）、8月7日（金）・21日（金）
午前10時～12時

■場 所 恵南グリーンセンター

■内 容 草刈機の使い方と構造

■参加費 無料 ★お申込み不要

■お問い合わせ 恵南グリーンセンター（0573）56-3430

Aコープ坂下店新装開店！

Aコープ坂下店では「地元でとれた新鮮で安全・安心な農産物を提供したい」という思いから新たに店内に産直コーナーを設け、6月30日（火）に新装開店いたしました。

地元の生産者による「いやさか産直組合」が地元農産物販売強化に努め、旬の野菜や果物を出荷します。

また、惣菜コーナーもさらに充実。弁当や煮物、揚げ物、サラダなど品ぞろえも豊富です！毎日のお買い物はもちろん、近くにいらした際にはぜひお立ち寄り下さい！

■通常営業時間 平日 9時30分～19時
日曜・祝日 9時30分～18時

■定休日 毎月第3日曜日



2016年版 JAオリジナルカレンダー写真募集！

■テ ー マ 「東美濃の四季」
東美濃地域（中津川市、恵那市）の四季の風景、自然、風物、行事等を捉えた作品

■応 募 先 JAひがしみの 本店ふれあい課
〒509-9132
中津川市茄子川1646-19
TEL 0573-78-0124

■応募締切 平成27年8月末日（消印有効）

■発 表 平成27年9月下旬、入賞者に直接通知

★詳しくは、広報誌6月号をご覧ください



親子で取り組むお片付け

ホームオーガナイザー ● 吉島 智美

いよいよ夏休みーお子さんが家にいる時間が増えると、物が散乱する機会も増えます。それに伴ってお母さんのストレスも一気に増加しますよね。

子どもの自立を促すためにも、この時期、親子で学用品や本、おもちゃなどの片付けに取り組んでみてはいかがでしょうか。

まずは片付けの前に、子どもの物を置く「専用スペース」を決めておきます。個室でなくても、ちよつとしたスペースで結構です。「専用スペース」を設けることで、その場所にある物は自己責任で管理するといったルールを、より明確にできます。

次に、持ち物を「学校」「習い事」「遊び」「生活(衣類など)」などと目的別に



仕分けします。仕分けした物は、それぞれが交ざらないよう注意して配置しましょう。小さいうちは、日常の行動動線に合わせて収納場所を決めると、本人のストレスが少なく維持しやすいです。

配置が決定したら収納を始めます。本やノートなど紙物は、基本的に立てて収納しましょう。倒れやすい場合は、しっかりとしたブックエンドで支えることが重要です。倒れたものが重なり合うと、片付けが面倒になり結局は散らかってしまふからです。小さなおもちゃは、洗濯ネットなどを利用して分類すると、幼児でも簡単に収納できます。

おもちゃや文具などを空き箱に収納する際は、必ず中身が何かわかるようラベルを貼りましょう。ラベルは大きく見やすい字で、1方向だけでなく、どの方向に貼ると良いでしょう。棚や引き出しにも何を戻す場所なのかラベルを貼ると、違う物を置いてしまふことを防ぎます。お子さんが何に興味を持っているのかを知るためにも、「コミュニケーション」の一環として、ぜひ一緒に片付けに取り組んでみてください。

子どものシラミについて

佐久総合病院名誉院長 ● 松島 松翠

シラミは、戦中戦後は非常に多かった感染症ですが、DDTやBHCなどの有効な殺虫剤の使用によりほとんど消滅しました。しかしそれらの薬剤の使用禁止に伴い、再び増加し、幼稚園や小学校で集団発生するようになりました。

子どもに多いのはシラミの中ではアタマジラミですが、その発生には特に季節的な原因はなく、一年中発生します。アタマジラミは、子ども同士で頭が触れ合う際に、頭髪から頭髪へと直接接触する形で簡単に感染します。

例えば、小さなゲームの画面を、頭を寄せ合って見る時、プール授業の着替えの際に、狭い更衣室で頭がぶつかり合う時、幼稚園や保育園で隣り合ってお昼寝する時、兄弟や親子が川の字になって寝る時などに感染しやすいのです。タオルとくし、帽子、寝具などは共有しないようにします。

アタマジラミは頭皮から血を吸って生きていくため、寄生していると多くは激しいかゆみを感じます。1

カ月に卵を100個くらい産み、大量に発生します。かゆみがない場合もありますが、この場合は発見が遅れがちになります。

アタマジラミの成虫は体長2〜4mmなので、時々大人がシャンプーを手伝い、アタマジラミがいらないか、卵がないか確認しましょう。

アタマジラミは、清潔にしておいても感染しますし、一人だけが駆除してもまたすぐうつる可能性があります。集団の中で発生したら、みんなで一斉に駆除しなければ感染を食い止めることはできません。



農句

情報

2015年
7月

良質米の安定生産に向けた今後の栽培管理のポイント

7月は水田の稲も大きく成長し、今年の作柄や米の品質を大きく左右する大切な時期となります。

良質米の安定生産に向けて今後の栽培管理のポイントをもう一度確認しましょう。

1 適期・的確な穂肥を施用しましょう

7月に入ると稲は穂を作り始めます。籾数の多い、充実した穂を作るため、穂肥を適期・的確に施用しましょう。

穂肥の施用時期

● あきたこまち・ひとめぼれ・コシヒカリ

↓ 出穂18日前(幼穂の長さ1cm)に施用

● あさひの夢・たかやまもち(倒伏し難い)

↓ 出穂23日前(幼穂の長さ2mm)に施用

【注意】！今後の気温が高いと稲の生育は早まり、出穂も早くなります。早めの幼穂確認を！

＜施用量の目安＞

(葉色が確実に低下している場合の施用量)

● あきたこまち (葉色 4.5 ～ 4.0)

NK化成2号で 20 kg / 10 a

● ひとめぼれ (葉色 4.0 ～ 3.5)

NK化成2号で 15 ～ 20 kg / 10 a

● コシヒカリ (葉色 3.5 ～ 3.0)

NK化成2号で 15 ～ 20 kg / 10 a

【注意】！葉色が濃い場合や過繁茂の時は、施用量を減らす、施用時期を遅らせる、あるいは施用を中止する判断も必要です。

※基肥一発肥料(エムコート822、一発こつきり君)の方は穂肥は不要です。



2 いもち病、紋枯病の予防防除を行います

● 秋雨の時期(低温で雨が続く)に特に発生しやすいのが穂いもちです。

● 田植え時にいもち病に効果のある箱施薬剤を使用しても、7月に入ると効果は著しく低下するため、穂いもちの予防防除が別途必要です。

● また、近年は紋枯病が発生している水田が目立ちます。紋枯病は高温多湿で多発し、稲の葉鞘

に発病するため倒伏を引き起こします。

以上の理由から、出穂前に病気に対する予防防除を行うことが重要です。(表)

● 穂いもち予防

↓ フジワン粒剤・コラトップ粒剤5等を散布

● 紋枯病対策も兼ねる場合

↓ フジワンモンカット粒剤を散布

● 倒伏が心配される場合(草丈が長い・葉色が濃い)

↓ イネビタン粒剤を散布

■ 農薬の使用基準

農薬名	使用時期	使用量/10a	使用回数
コラトップ粒剤5	出穂30～5日前	3～4kg	2回以内
フジワン粒剤	出穂30～10日前 (収穫30日前まで)	3～5kg	2回以内
フジワン モンカット粒剤 (紋枯病防除も兼ねる)	出穂30～10日前 (収穫30日前まで)	3～4kg	
イネビタン粒剤 (倒伏対策も兼ねる)	出穂20～10日前 (収穫45日前まで)	3～4kg	1回

※粒剤は温水状態で散布し、散布後7日間は止水(落水、かけ流しをしない)

※農薬の使用基準は、平成27年6月9日現在



彩・菜・栽

2015年
7月

必ず成功するワケギ作り



野菜作りの難易度が最も低いグループ、すなわち誰でも作れて、身近にあると大変重宝するお薦め野菜がワケギです。

ネギとタマネギの仲間シャロットの自然交雑により生まれたF1で、種子はできず、もっぱら球根により増殖します。そのため種球（球根）を

植え付けて育てるのです。秋口に種球を植えておくと間もなく芽が出てきて、1株から20〜30本の細ネギが伸び、柔らかくて香りのある葉が収穫できます。薬味や吸い口に、鍋物に、魚介：…と調理を楽しめます。

もう1つ魅力なのは、葉を刈り取るとすぐに再び若い葉が出てくることです。そして、ワケギの性質として一生花を付けず、とう立ちしないので、刈り取りを数回以上行うことができます、同じ株を秋→冬→春と、大変長い間利用できることです。

育て方は至って簡単。7〜8月になるとネット袋に多数入った種球が売り出されるので、それを買って、1カ所2〜3球ずつまとめ、株間15〜20cm間隔に植え付けます。プランターにも好適で、縦長の20×80cmくらいの大きさなら2列に、15cm間

隔くらいでもよいでしょう。植え付けに先立って、図のように病害などに汚染されている外皮を取り除き、充実した球を選ぶようにします。良質の葉を得るには前もって完熟堆肥と油かすなどを施しておくことが必要です。植え付けに当たっては少し伸び始めている芽先が、地面にのぞく程度の深さになるよう留意します。

芽が伸び、草丈が15cmくらいになった頃、株間に化成肥料と油かすを少々（5株当たり各大きさ1杯ぐらい）を与えます。

収穫は草丈が20cm内外に伸びた頃から行うのが一般的ですが、株元を地上3〜4cmほど残して、はさみか刃物で刈り取ります。ネギ類は全てそうですが、切り口からはすぐに、

中で分化、成長しつつあった新葉が伸び出し、やがて元のワケギの形に育っていきます。刈り取ったらすぐに前回と同じくらいの肥料を株の周りに施し、土に軽く混ぜ込んでおきましょう。量や回数は、葉色や葉の伸び具合を見て適宜調整してください。

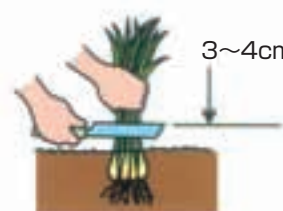
収穫は4月中旬頃まで（品質が低下してしまうまで数回の刈り取り）続けることができます。その後次第に葉が黄化し、ついには完全に枯れ上がってしまいます。この頃には株元にたくさんの球根ができ、休眠状態に入ってしまうます。これは次年度の種球として利用できるのも大助かりですね。休眠が明けるのは7月頃からです。それまで風通しの良い日陰で転がしておくだけでよいのです。



外側の枯れた皮を取り外し
2〜3球ずつに分ける



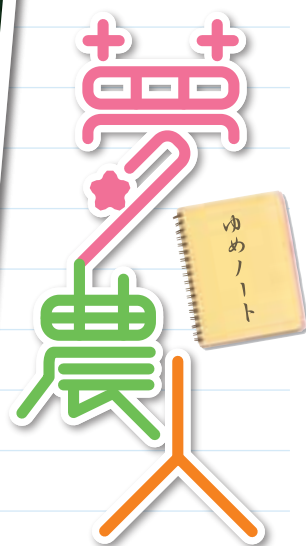
3〜4cm



地上から3〜4cm残して
刈り取る



15〜20cm以上になった
ところに再び収穫する



根崎 勝秋さん
(恵那市明智町)

喜ばれる野菜づくり

甘味が強く、黄色が鮮やかなスイートコーン品種「恵味ゴールド」。「採れたては生でも食べられるほど粒皮が柔らかい」と魅力を語るのが、この品種を30年以上前から栽培している根崎さんです。

今年度の栽培面積は16a。約6800本を植え付けています。天候に恵まれたことから生育も順調で、品質も良好。収穫は7月下旬を予定しています。

根崎さんが栽培で気を付けているのは、ハクビシンやカラスなどの鳥獣害対策としての電柵の設置と、収穫期の負担を軽減できるよう播種時期をずらすこと。また病害虫に対しては減農薬栽培で「安全・安心」を心掛けます。

「明智町スイートコーン生産振興組合」の一員でもある根崎さんは、一緒に栽培する仲間も募集中です。スイートコーンは短期間で大きく成長することで初心者でも取り組みやすい作物である点や、一定の収入が得られることをメリットとして、PRしています。

また、自分が食べてみたい、興味がある野菜には必ず挑戦する根崎さん。つくった野菜は知り合いや近所へ配ること

がほとんどです。「自分がつくった野菜が美味しいと喜ばれる。

それが野菜づくりの醍醐味でもあります。り、とても楽しいところですよ」と笑顔で話しました。



鮮度抜群！ スイートコーンをお届け 「ふるさとパック」

価格(5kg) 2700円(税、送料込)
受付期間 平成27年7月6日～14日
発送予定日 平成27年7月22日～
お問い合わせ 恵南アグリセンター
(0573)56-2171



エンジョイ

マイライフ

「自然」から深まる絆

大学時代に地球科学を専

攻し、地形や火山、地震につ

いて学んできた安江さん。

現在はその幅広い知識や見

識を活かし、国の研究所に

勤めて地震などの自然現象

を研究している他、愛知県

の大学でも非常勤講師と

して教壇に立つなど、忙

しい日々を送っています。

研究の影響もあって登

山することが好きな安

江さんは、今まで地元の

小秀山や北アルプス、利尻山、

八ヶ岳などに登りました。特に小秀山には地元の登山愛好会「加子

母スカイウォーカーズ」に加入していることから、メンバーと登る

こともしばしば。毎年8月にはペルセウス座流星群が観測されるこ

とで、美しく幻想的な景色を楽しみにしています。

中津川市神坂から下呂市荻原町まで約70 kmにわたって延びる「阿

寺断層」を題材に、坂下や加子母などで子どもたちに自然科学に興

味をもってもらったための講演も行っている安江さん。「地元の自然を

理解することで、子どもたちの愛郷心が高まる。自然科学が自分た

ちの生活に深く関わっていることを伝えたい」と次世代への思いを

話しました。



安江 健一さん(中津川市千旦林)

☆JAの星



Profile

担当：窓口
入組：2年目
出身：中津川市加子母
血液型：A型
好きなこと：散歩

加子母支店
安江 由樹

お客様の立場にたった接客

この春から金融窓口を担当しています。

来店されたお客様に「また来たい」と思ってもらえるような対応と、支店の雰囲気づくりに努めています。組合員や地域の皆様に親しまれ、信頼される職員になれるよう、これからも頑張ります。

キラキラ ひがしみのっ子

西尾

葦ちゃん(中津川市付知町)



お店の看板娘

新鮮な野菜やお肉、惣菜などを販売している付知町の「フードショップヤマニシ」。このお店の看板娘が葦ちゃんです。「人の話をよく聞いて、お店の手伝いもしてくれる」とお母さんも驚くほどしっかり者。「大きくなったらお店のレジをやりたい」と少し照れながら話してくれました。



ひがし君・みゆちゃんの おはなし日和



越えたいですね！
 中津川市千旦林 小島 博子さん

「これからますます暑くなりますが、スタミナをつけて乗り越えたいですね！」

「広報誌の「旬を味わう」を切り取りファイルに綴じています。先月号で紹介されたニンニクは、今まで料理に使うことはなかったのですが、家族の健康のためにこれから積極的に料理に取り入れたいと思います。」

「先月号の「野菜栽培」で私の大好きな小松菜の収穫方法などについて紹介されていたので、挑戦したいと思います。」

「食べたいものや好きなものを自分でつくることができることも楽しいですね！」



恵那市明智町 阿部 早苗さん

「先月号の「野菜栽培」で私の大好きな小松菜の収穫方法などについて紹介されていたので、挑戦したいと思います。」

「先月号の「野菜栽培」で私の大好きな小松菜の収穫方法などについて紹介されていたので、挑戦したいと思います。」

「先月号の「野菜栽培」で私の大好きな小松菜の収穫方法などについて紹介されていたので、挑戦したいと思います。」

恵那市東野 西尾 由美子さん

「先月号の「夢農人」で「米の消費拡大に貢献」とありました。学校給食でこれからもっとお米が主食になればいいなと思います。」

「来店されるお客様にも好評ですね！」



「阿木高校の生産科3年生14名が、支店前の花壇に花を植えてくれました。今回はマリーゴールドとベコニアです。店舗の雰囲気明るくなって、季節を感じるのですね。」

「阿木高校の生産科3年生14名が、支店前の花壇に花を植えてくれました。今回はマリーゴールドとベコニアです。店舗の雰囲気明るくなって、季節を感じるのですね。」

「ありがとうございます。今後も組合員や地域の皆さんの期待に応えられるよう、存在感のあるJAを目指してまいります。」

中津川市付知町 熊澤 成江さん

「JAは地域の農業を支えるだけでなく、その地域に住む者にとって、なくてはならない存在です。これからもがんばって欲しいです。」

「JAは地域の農業を支えるだけでなく、その地域に住む者にとって、なくてはならない存在です。これからもがんばって欲しいです。」

「細かく切った梅干しと青ジンを炊きたてのご飯に混ぜて食べると美味しいですよ！」

中津川市茄子川 入江 小夜子さん

「庭先で育てている青ジソで今年もいろいろ料理をしています。ぜひ青ジソのレシピを紹介して下さい。」

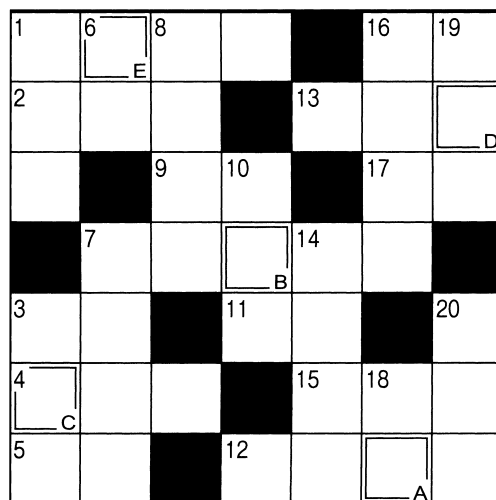
頭口体操

■タテのカギ

- ①スポーツカーのエンジンが——を上げる
- ③視力を矯正するために掛けます
- ⑥瀬戸内海にはたくさんあります
- ⑦米どころの県の一つ 県鳥はトキ
- ⑧浴槽からくみ出して再利用
- ⑩——性の良いメッシュの帽子
- ⑭髪を刈るときに使います
- ⑯両手は床に突いて足を上げます
- ⑰失敗は成功の——
- ⑱ポテト、シーザー、海藻といえば
- ⑳物がすり減ること

■ヨコのカギ

- ①ウナギを食べる人が多い土用の——
- ②コノワタはこの生物のはらわたを使って作ります
- ③兄弟姉妹の娘
- ④笙(しょう)や箏(ひちりき)で演奏します
- ⑤シャリと合わせてすしにします
- ⑦固体の薬品をすりつぶす道具
- ⑨3.14159……と続く円周——
- ⑪穴を開けるとときに使う工具
- ⑫高くそびえる銭湯の目印
- ⑬卵(う)の花ともいいます
- ⑮港や海辺でよく見る鳥
- ⑯七夕に短冊をつるします
- ⑰「やだやだー」と——をこねる子



【問題】二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■応募要領

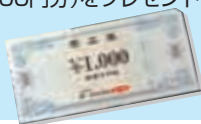
官製ハガキにクイズの答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、JAまたは広報誌に対する意見、要望などをご記入の上、下記までお寄せ下さい。

■応募締切日

平成27年7月24日(金)

■賞品

正解者の中から抽選で10名様に農協全国商品券(1,000円分)をプレゼント



〒509-9132 中津川市茄子川1646-19
 JAひがしみの 本店 ふれあい課

■6月号の答え

ヤマビラキ(山開き)

■クイズ当選者(敬称略)

鈴木 駿介、小栗 成子、長瀬 峰子
 林 泰子、河合 洋子、市岡 真奈美
 原 立美、後藤 忠弘、兼松 まゆみ
 石井 康貴



理事会

第3回理事会

(平成27年6月24日)

次の事項が報告、または審議されました。

【附議事項】

- ①第17年度業務報告書について
- ②選択定年退職規程の廃止について
- ③大口貸出先の条件変更について
- ④教育カードローン(株)セディナ保証型)
融資要綱の一部改正について
- ⑤理事の報酬について

【報告事項】

- ①内部監査結果について
- ②信頼性向上行動計画の進捗管理結果について
- ③JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
- ④平成27年度運営委員の委嘱について
- ⑤役員賠償責任保険の加入(継続)について
- ⑥平成27年度農協農政連盟加入について
- ⑦第2四半期余裕金運用計画額及び運用方針について
- ⑧地方公共団体等貸出金について
- ⑨米需給調整、需要拡大基金実績について
- ⑩アグリホールえな竣工式の日程について
- ⑪Aコープ坂下店リニューアルOPENについて
- ⑫美濃酪連の決算報告について
- ⑬5月末の事業実績について

無料相談日

JAでは、各種相談日を設けていますので、お気軽にご利用ください。
各相談場所へ事前に電話予約をしてください。

内容	月 日	場 所	内容	月 日	場 所
年金 相談	7月	8日(水)	法律 相談	7月	8日(水)
		//			下野支店
		15日(水)			9日(木)
		//			本店
		//			15日(水)
		加子母支店			恵那支店
		付知支店			山岡支店
	8月	5日(水)	税務 相談	8月	12日(水)
		//			下野支店
		//			13日(木)
		山岡支店			本店
		明智支店		7月	8日(水)
		上村支店			恵那支店
		12日(水)			//
		坂下支店			山岡支店
					15日(水)
					中津川支店
					22日(水)
					下野支店
				8月	12日(水)
					恵那支店
					//
					山岡支店

ご案内窓口 市外局番 ☎(0573)

本 店 ☎78-0124	上 村 支 店 ☎47-2311
中 津 川 支 店 ☎65-3144	坂 下 支 店 ☎75-4111
恵 那 支 店 ☎25-5291	加 子 母 支 店 ☎79-2241
山 岡 支 店 ☎56-2121	付 知 支 店 ☎82-2121
明 智 支 店 ☎54-2171	下 野 支 店 ☎72-2061

JAひがしみの 概 況

(平成27年5月29日現在)

組 合 員 数	32,832人
出 資 金	26億8,860万円
貯 金	2,160億5,879万円
貸 出 金	445億3,819万円
共 済 保 有 高	7,213億9,426万円
購 買 品 供 給 高	12億1,765万円
販 売 品 販 売 高	6億 756万円

ここだけの話

■昨年の御嶽山の噴火以降、世界中で噴火や地震が相次いでいる。最近では浅間山や口永良部島でも噴火した。箱根山や蔵王も危険性があると言われ、活動期に入ったのではとの報道もあり不安な毎日。改めて防災に對しての備えを再確認したいと思う。(も)

■言葉の捉え方は本当に人それぞれだと感じます。書き手としてはやはり独り善がりな文章になりがちなので、読み手にどのような伝わるかをもっと意識しなければなりません。広報誌ひがしみのがよりよいものになるように、これからもがんばりたいです。(な)

追伸 トマトは大好きです。

ふれあい訪問日

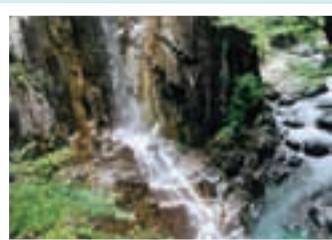
平成27年8月のふれあい訪問日

11日(火)・12日(水)

※都合により変更の場合があります

緊急連絡先

事故をしてしまったら	TEL 0120-25-8931
通帳・キャッシュカードを無くしてしまった	TEL 058-276-8015
葬儀に関するご相談は	TEL 0120-09-8382
電化製品のお問い合わせは	TEL 0573-78-0122
プロパンガス・ガス器具のお問い合わせは	TEL 0573-68-7744



(カレンダー応募作品より)

付知峡の奥へ、写真仲間と初めて行きました。滝と清流がとても美しく、暑い夏でも水しぶきが涼しさを感じます。紅葉の季節には、また違った雰囲気の写真を撮ることができると思います。

今月の表紙

滝と清流

撮影・切石あや子さん
(中津川市落合)
撮影地・中津川市付知峡



キュウリ

みずみずしさと、
歯切れの良さが
食欲を誘います

一年中出回っているキュウリですが、旬は6月～8月。気温の上昇とともに黄色い花が咲き、その後次々と実を付けていきます。普段目にする緑色のキュウリは実が熟す前の未熟果を収穫したもの。キュウリは熟すと皮が堅く黄色くなるので、黄色いウリ「黄瓜(きゅうり)」が語源ともいわれています。

みずみずしい歯触りが涼しげなキュウリは、成分の約95%が水分。そのためあまり栄養価は高くありませんが、血圧を下げる効果や利尿作用のあるカリウムが多く、食物繊維も含まれます。夏野菜として体を冷やす働きもあり、



暑い日には効果的です。

選び方は、緑色が濃く、イボがとがって張りがあるものが新鮮。曲がり加減は味に影響しませんが、太さ

は一定のものを選びましょう。

キュウリは生で食べることがほとんどですが、水分が多いのでサラダや和え物など調味料と和えると水っぽくなって味が薄まりがちです。切ってから塩を振って少し置き、絞ってから使うと、余分な水分が抜けて水っぽくならず、味も染み込みやすくなります。そのままたたきキュウリやスティックにして食べる時は、先に板ずりするのがお勧め。まな板にキュウリを置き、1本につき塩小さじ1/4程度をまぶし、両手の手のひらで押さえながら転がします。表面のいぼが取れて皮の色が鮮やかになり、味も染み込みやすくなります。また意外ですが、炒めても歯ごたえが残り、青臭さが抜けるので美味しく頂けます。この時も、塩をしておくで余分な水分が出て味がなじみやすくなります。食感を活かし、さっと手早く炒めましょう。

RECIPE

キュウリとイカの イタリアン炒め

材料(2人分)

調理時間
10分

キュウリ 1本
塩 小さじ1/4
イカ(ロールイカなど) 80g
□ 白ワイン 小さじ1
□ 塩・こしょう 各少々
ニンニク 1片(10g)
バジルの葉 8枚
オリーブ油 大さじ1
□ 白ワイン 大さじ1/2
□ 塩・こしょう 各少々

作り方

- 1 キュウリは長めの乱切りにし、塩小さじ1/4を振って約5分置きます。水気を絞ります。
- 2 イカは表面に格子状の切り込みを入れ、キュウリと同じくらいの大きさに切ります。□を振り、下味を付けます。
- 3 ニンニクはみじん切り、バジルは粗く刻みます。
- 4 フライパンにオリーブ油とニンニクを入れ、弱火で炒めます。香りが出たら、キュウリ、イカを加え、強火で炒めます。キュウリが少ししんなりしたらBを加え、バジルを加えてすぐに火を止めます。



出典:「ベターホームのお料理教室」 撮影:大井一範

Heartful Communication

ひがしみの

JAひがしみの
ホームページ

ひがしみの産の美味しいレシピや食材、最新情報はこちら

<http://www.ja-higashimino.or.jp/>

発行: 東美濃農業協同組合(JAひがしみの) ● JULY / Vol.208 2015年7月1日発行

編集: 企画総務部ふれあい課 〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-19

TEL0573・78・0124 FAX0573・68・7724 (E-mail) koho@ja-higashimino.gjadc.jp

JAひがしみの

検索

